

釧路市立大楽毛小学校 学校だより



# すずらん

令和5年10月25日発行 NO. 8

◆教育目標◆  
 たくましい子  
 心ゆたかな子  
 考える子  
 協力する子  
 責任をもつ子

### 11月から帰宅時刻は16:00

16時を過ぎると外が急に暗くなります。暗くなる前にお家に帰るよう家庭でも確認をお願いします。不審者や怪しい車などに遭わないよう、複数で登下校したり遊びに出かけたりしましょう。自転車の乗り方や道路の横断など、交通ルールをしっかり守りましょう。また、寒くなってきました。登下校時には防寒用の手袋や帽子、上着を着用しましょう。

## 11月（霜月）の行事


日	曜	行 事	読みかせ	推進 G	まなびや
1	水	明治 SDGs 出前授業 5・6年生	○		○
2	木	特別時程・午前授業 小中ジョイント協議会⑥(中)			
3	金	文化の日			
4	土				
5	日				
6	月	まなびや特訓4年 舞台配置図・放送原稿提出日		○	◎
7	火	公教研 午前授業 本の貸出1・6年		○	
8	水	職員会議	○	○	
9	木	学芸会実行委員会① 図書館バス		○	
10	金	教育FI③ フッ化物洗口 子ども支援委員会			○
11	土	チャイルド1 DAY			
12	日				
13	月	朝会 まなびや特訓1・3年			◎
14	火	本の貸出2・5年 学芸会実行委員会②			
15	水	学芸会(児童鑑賞日)	○		
16	木				○
17	金	学芸会実行委員会③ 教育FI④ フッ化物洗口			
18	土	学芸会(保護者公開日) 全市一斉土活(小)		★	
19	日				
20	月	チャレンジテスト配信日 スクールカウンセラー来校			○
21	火	サイエンスルーム6年 本の貸出3・4年 校長会議			
22	水	特支教育展鑑賞午前(低)、午後(高) 研修⑤	○		
23	木	勤労感謝の日 図書館バス			
24	金	知能検査2・4年 教育FI⑤ 特別時程			
25	土	全市一斉土活(中)			
26	日				
27	月	まなびや特訓6年 新1年生体験入学		★	◎
28	火	外国語巡回指導2巡目 教頭会議		★	
29	水		○	★	
30	木	ALT 来校		★	

今日はこれを頑張ろう! (「釧路っ子共に育てる10カ条」より)

### 「失敗おそれず レッツ・チャレンジ」

失敗も成功も周りの支えがあれば大丈夫。子供のチャレンジ精神を応援しましょう。

### 「学び合い」の成果



#### 校長 富田 直子

先日、近隣の大楽毛中学校の「おたフェス(学校祭)」や鶴野支援学校の「学芸会」を短い時間ながら鑑賞する機会をいただきました。両校の子どもたちの歌声や演技力を目の当たりにし、ここまで至る練習過程等を思い浮かべ、令和の時代においても「学校」という場の大切さを改めて感じました。

コロナ禍において、日本中全ての小・中学生に1人1台端末が貸与され、授業の中で日常的にタブレット端末が使用されるようになるなど、学校教育は大きな変革期を迎えました。そのような中、令和3年1月に中央教育審議会から答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」が出されました。この答申では、ICTを活用したいわゆる「個別最適な学び(その子その子の実態に応じた学習)」の充実を図るとともに、これまでも「日本型学校教育」において重視されてきた子ども同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら互いを価値ある存在として認識するとともに、同じ空間で時間を共にすることで、互いの感性や考え方に触れ刺激し合うこと(協働的な学び)の重要性を改めて認識するよう示されています。

つまり、様々な考えや思いをもつ子どもたちが集まる「学校」だからこそできること、互いに助け合ったり、支え合ったり、そして時には考えの違う友達と話し合ったり。そのような経験を乗り越えながら、子どもたちは世の中で生きていく力を付けていく。「学校」は、そのために、例えば授業の中で、意図的に友達同士で考えを出し合って深め合う場や、地域や保護者の方々と関わる場をつくっていくことが大切なのです。

日常的に各学年の授業を参観してまわっていると、しばしばそんないい場面に遭遇します。低学年では相談しながらグループの考えをタブレットに書き込んでいたり、高学年では友達の意見に小声で「なるほど」とつぶやく場面があったり。または教員が1人の子どもの考えを上手に全体に広げて、「〇〇さんの考えは素敵な考えだね」と価値付けたり、地域探検にいくと「〇年生はとっても立派ですね」とお店の方に言われたり。そんな時に子どもたちは本当にいい

顔をしています。「認められた」「またやってみたいな」。

先に紹介した学校祭や学芸会で見られる姿は、学校の教育活動の一部ではありますが、そこには日常的な子どもたち同士の「学び合い」や「関わり合い」があり、その上での姿であると感じます。11月18日には本校でも「学芸会」(保護者・地域公開)を予定しております。ぜひ、子どもたちの「学び合い」の成果をご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 学芸会があります!


11月18日(土)は学芸会です。子供たちが本番に向け、練習を始めています。音楽の学習や体育の学習など、日々の学習の中で取り組んだ内容を中心に発表する「学習発表」として位置づけており、子供たちは多くの保護者、地域の皆様に自分たちの努力の成果を見ていただける大事な機会として頑張っています。

プログラム等を後日お配りいたします。子供たちが光り輝く学芸会にしたいと考えておりますので、当日は是非ご来校、ご観覧ください。

#### 落とし物が多くなっています～記名しましょう～

落とし物が多くなっています。現在、手袋(片方)、ハンカチ、布マスク、リコーダー、鉛筆、ジャージの上着、ズボン、雑巾など、様々なものが届いています。持ち物には記名すること、物を大事にすることを改めてお子さんと話していただくと助かります。届いた物は1階廊下の落とし物コーナーに保管しています。

#### 元気に歩いて登下校しましょう



本校では、スクールバス通学以外の子供たちには徒歩での登下校を奨励しています。寒くなってきたこともあり、自動車での送迎が多くなっていますが、健康で強い体を作ることにつながり、校内以外での子供同士の交流ができること等も踏まえ、徒歩通学が望ましいと考えております。是非「頑張って歩いて行きなさい。」とお声がけいただければ幸いです。また、**登下校の送迎時、校門前でお子さんを降ろしているご家庭があります。危険ですとおやめください。やむを得ず送迎される場合は駐車場をお願いします。**

みんなで本を読みましょう!!

## くしろの読書週間 ~本とあそぼう!~



### 【目的】

本に親しむきっかけを通じて、すべての世代の人たちが読書の楽しさを知ってもらうこと

### 【実施期間】

令和5年10月27日(金)~11月9日(木)

### 【主催・後援】

釧路市教育委員会、釧路市中央図書館

後援:釧路市PTA連合会、釧路市連合町内会



### 【取組内容】「くしろの読書週間 ~本とあそぼう!~」の取組

くしろの読書週間期間中に次の取組を実施する。

#### (1) 「としょかんフェスタ 2023」の開催

読書週間の趣旨の理解を図るため、朗読会、映画上映会、ワークショップ等を開催する。

#### (2) 「大人も子どももノーメディアデー ~読書のたのしさ体験~」の実施

読書に興味・関心を持ち、自ら親しむ機会とするため、ゲーム、インターネット等のメディアに触れる時間を1日30分、読書や本に関する会話をすることに充てる。

### 【釧路市中央図書館のイベントに関する問合せ】

電話 64-1740 ウェブサイト <http://kushirolibrary.jp>

## “読書週間”とは?

昭和22年、終戦の2年後、まだ戦火の傷あとが至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに第1回“読書週間”が開催されました。第1回の“読書週間”は11月17日から23日。

これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)となったのは、第2回からです。それから60年以上が過ぎ、“読書週間”は国民的行事として定着してきました。

## 楽しく思い出に残る修学旅行になりました(10/5~6)

10月4・5日の2日間、6年生が修学旅行に行ってきました。1日目は、北見ファミリーランドで思う存分遊び、常呂町でカーリング体験をしてホテル網走湖荘で温泉につかり、美味しいご飯に友達との楽しい語らい。

2日目は、オホーツク流氷館、博物館網走監獄で楽しくも深い学び。雨に降られつつもお土産を買ったり、写真を撮ったり…。たくさん遊んで友情を深め、夕方、無事に学校に戻ってまいりました。バスから降りてきた子供たちは、実に清々しい顔で帰ってきました。準備から協力し合い、助け合い、当日は仲良く楽しく、友情を深め、過ごしてきた6年生。卒業までの半年、より成長した姿で大楽毛小学校を引っ張っていってくれることが確信できました。

6年生の保護者の皆様はじめ、ご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。



## 6年生出前授業

### 「視覚・聴覚に不自由な人のコミュニケーションについて知ろう」

現在、6年生は総合的な学習の時間「オンタイム」において、障害について学びを深め、自分たちにできる「福祉」について考えています。

その学習の一環として、社会福祉協議会の方々の協力を得て、10月16日に「点字」と「手話」について学習しました。どの子も真剣に取り組み、「やる前は難しい、と思っていたが実際に経験してみると規則性などに気づくことができた。」等の感想を述べていました。今後もさらに学びを深めていく予定です。



## 5年生出前授業「地震による建物の揺れ方」

5年生も高専の出前授業で地震による建物の揺れ方について学習しました。釧路地方は地震が多いので、子供たちも真剣に学習に取り組んでいました。高専の先生方が今年度も複数回出前授業を行ってくださっています。ありがとうございます。



## 小中ジョイントの取組が充実しています

本校と大楽毛中学校は令和8年度の義務教育学校化に向け、教育課程だけでなく、児童生徒、教職員の直接的なつながりも大事にした「小中ジョイントプロジェクト」の取組を積極的に進めています。釧路市全体でも中学校区ごと



にジョイントの取組が進められていますが、大楽毛地区は特に新しい学校の立ち上げが2年半後に迫っていることもあり、より多くの時間と場の共有を図っています。

去る10月10日(火)にも、中学校の数学科の先生が来校し、

6年生に算数の授業を行ってくれました。お互いにいろいろな気づきがあり、大変実りある研修会となりました。

## 毎週水曜日は「縄跳びチャレンジ」

運動習慣の定着と体力増強のため、体育委員会主催で毎週水曜日の業間休みは児童玄関前の赤レンガ



で縄跳びにチャレンジすることになっています。だんだんと定着してきて、低学年の児童を中心に頑張って練習しています。縄跳びはご家庭でも手軽にできる運動です。是非ご家族でも取り組んでみてください。脳幹が刺激され、体幹も整い、よいことづくめですよ。

## 熟議をおこないました~コミュニティ・スクール協議会~

10月20日(金)に第3回コミュニティ・スクール協議会を開催いたしました。今回は「義務教育9年間で目指す大楽毛の子供の姿から我々ができること、やるべきこと」をテーマに、本校コミスク委員の皆様をはじめ、大楽毛中学校コミュニティ・スクール協議委員の皆様、本校教職員、中学校教職員、合わせて40名ほどが集まり、熟議を行いました。子供たちに付けたい力、そしてその力を付けるためにすぐにでもできそうなこと、時間がかかるがやって

いきたいこと…様々な視点から協議を行いました。大変熱心に熟議いただき、前向きで充実した案がたくさん出されました。これらをもとにして新しい学校づくりを進めてまいります。



ご参会いただきました皆様、誠にありがとうございました。